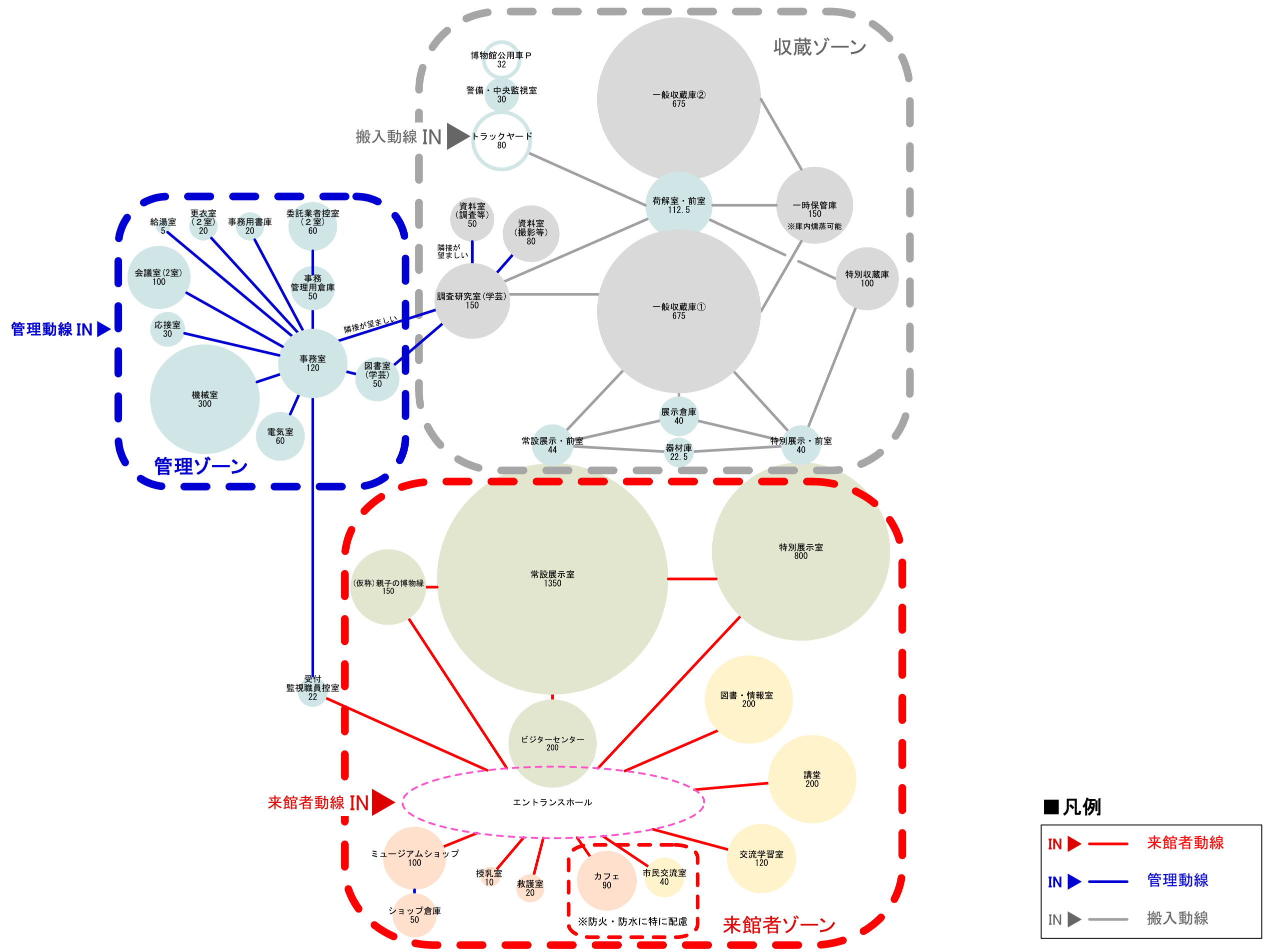


※本資料は博物館の諸室の配置の相互関係を検討するための概念図であり、
施設設計図・イメージ図ではありません。

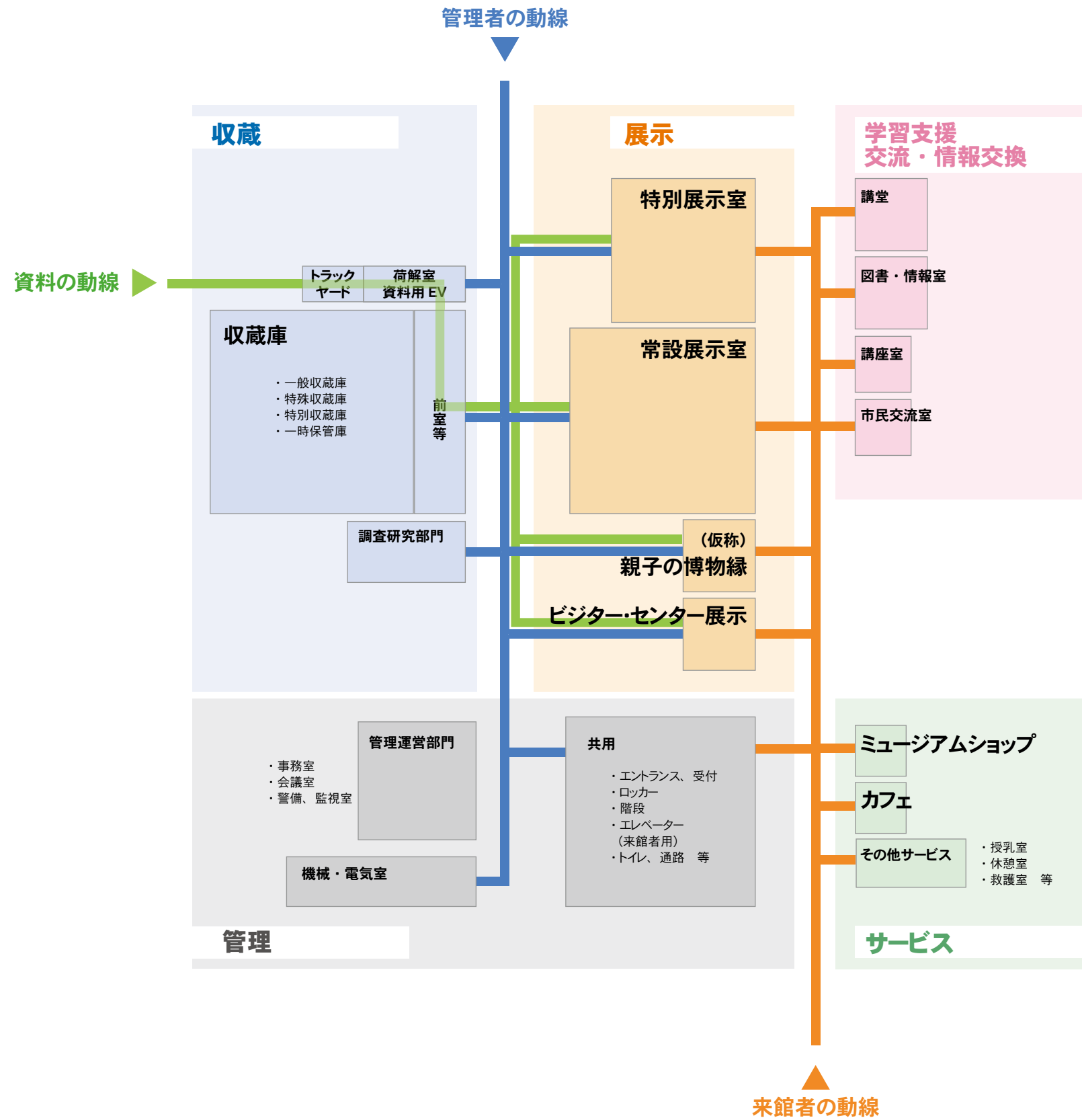
※本資料の全部または一部を二次利用（掲載・転載・複写等）することを禁止します。



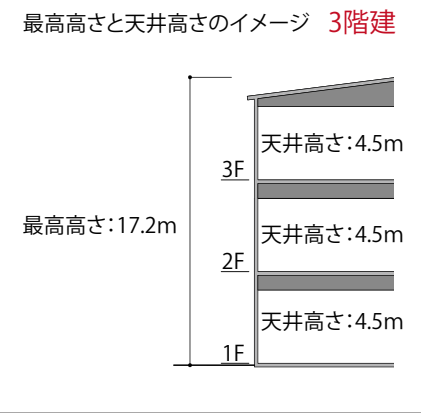
凡例

- IN ▶ — 来館者動線
- IN ▶ — 管理動線
- IN ▶ — 搬入動線

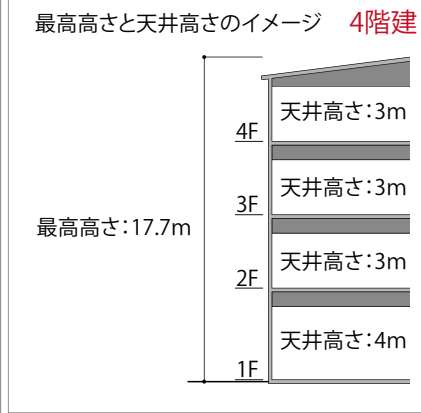
※図中の数値は、諸室の想定面積 (㎡) を示す。



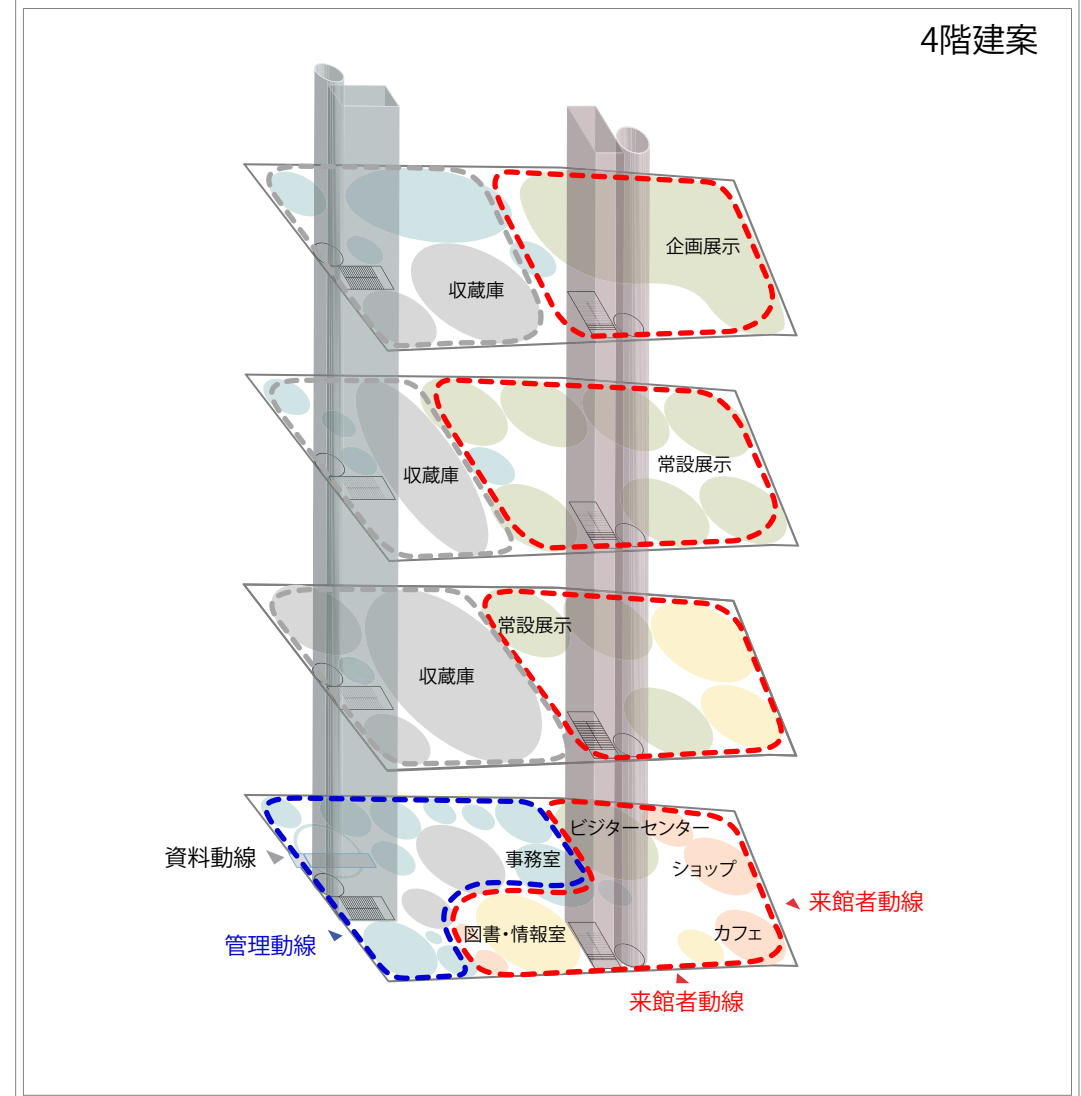
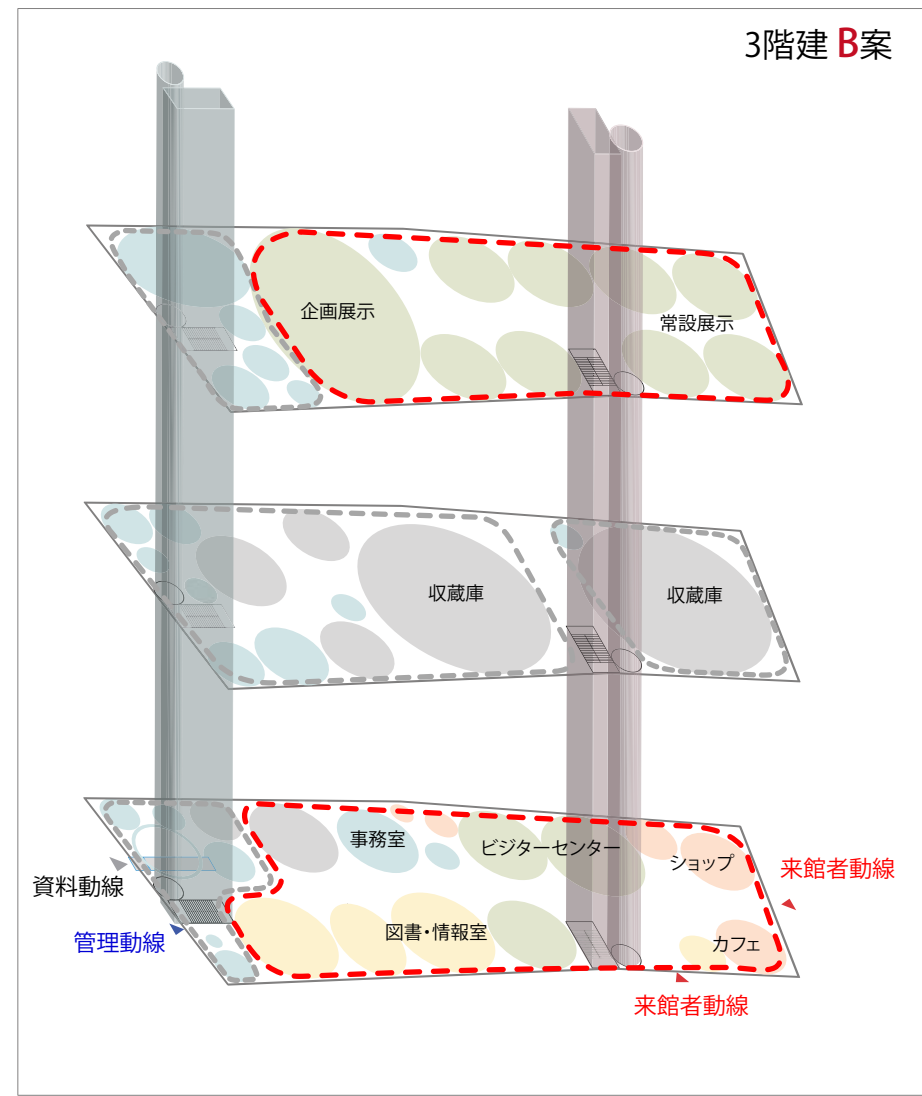
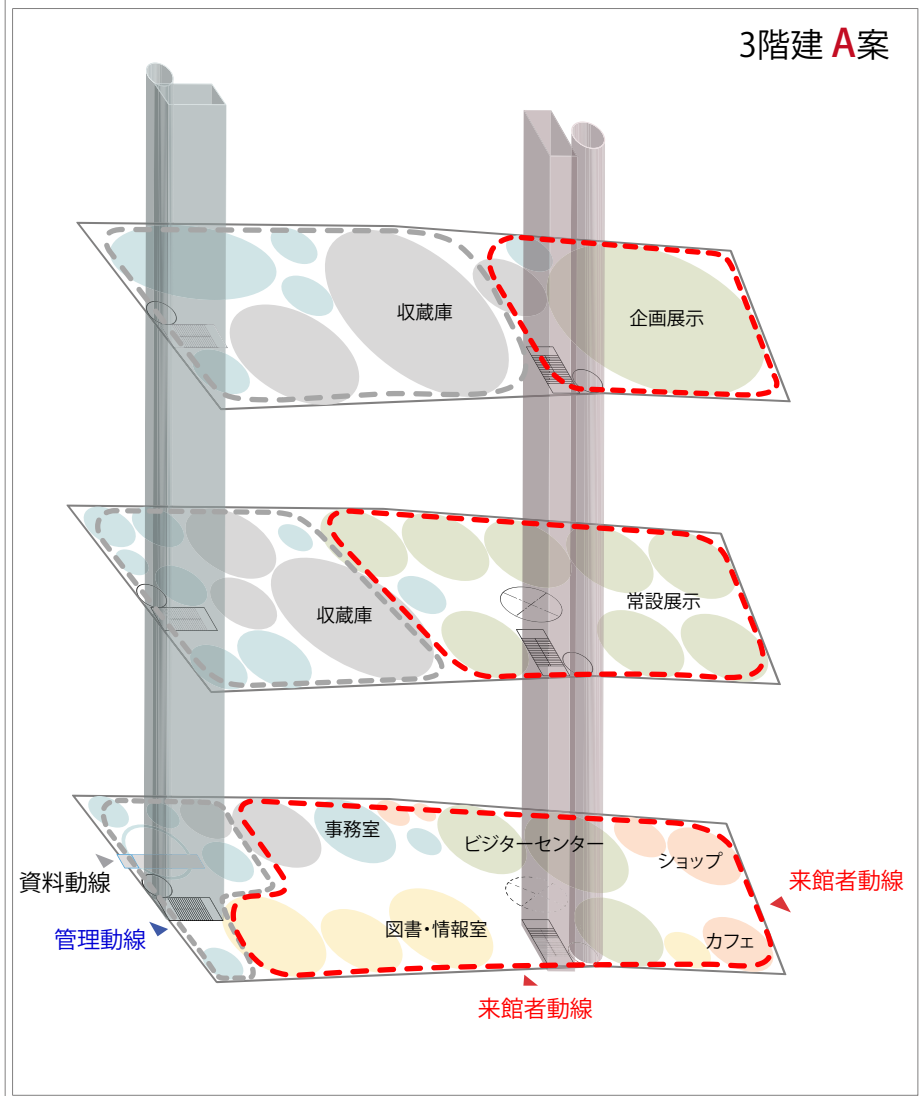
※本資料は博物館の諸室の配置の相互関係を検討するための概念図であり、施設設計図・イメージ図ではありません。
 ※本資料の全部または一部を二次利用（掲載・転載・複写等）することを禁止します。



- メリット
- ・垂直方向の移動が少なく済み、来館者動線、管理動線、資料動線ともに効率的となる。
 - ・建築の最高高さが18mと制限があるが、3階建の場合、十分な階高の確保が可能。
 - ・フリースペースを全て1階とすることが可能。
- デメリット
- ・水平方向の移動が大きい。
 - ・埋蔵文化財の発掘調査範囲が増加する。
 - ・広場面積が減少する。



- メリット
- ・水平方向の移動が少ない。
 - ・埋蔵文化財の発掘調査範囲が減少する。
 - ・広場面積を拡大することが可能。
- デメリット
- ・建築の最高高さに18mの制限があり、4階建の場合、天井高さが3m程度しか確保できず障害となる。
 - ・垂直方向の移動が多く必要となり、来館者動線、管理動線、資料動線ともに非効率的となってしまう可能性がある。



各階に蔵庫および展示室を計画した案

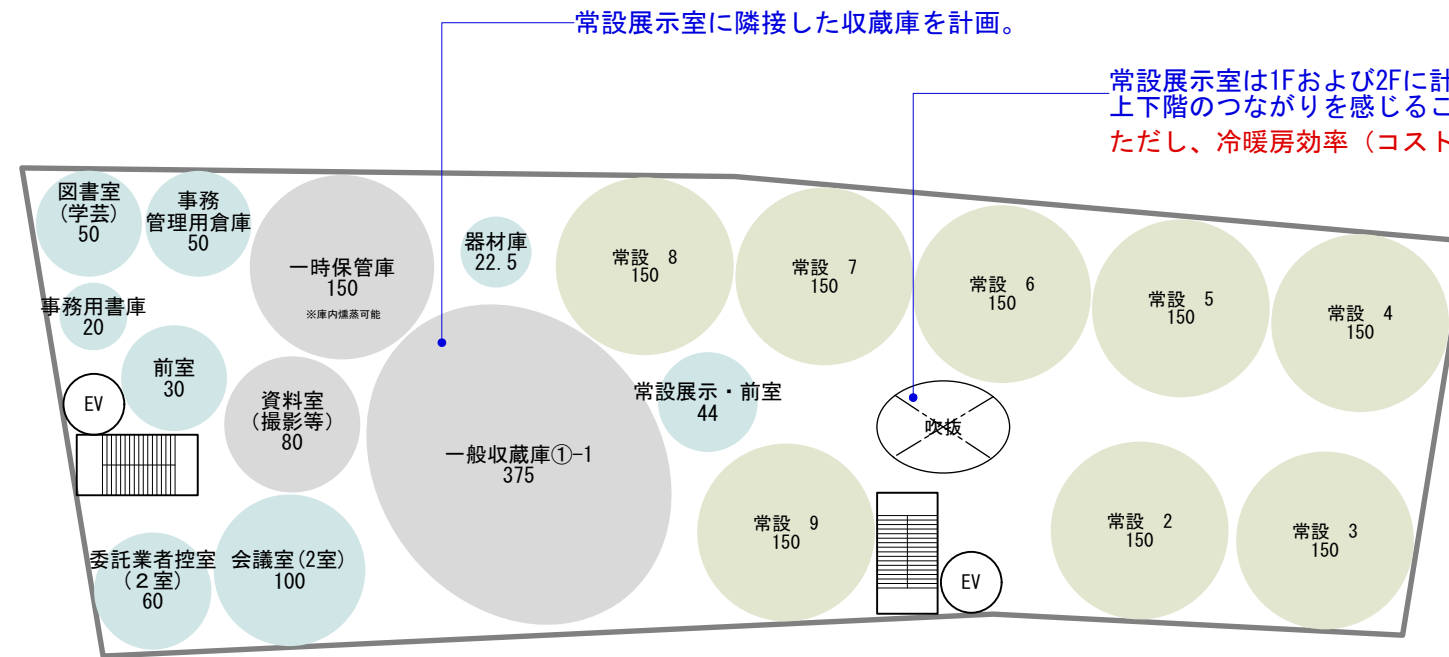
展示室に隣接し、各蔵庫を計画したため、施設への搬入後は同フロアの移動により展示替えが可能。

蔵庫を2階にまとめた案

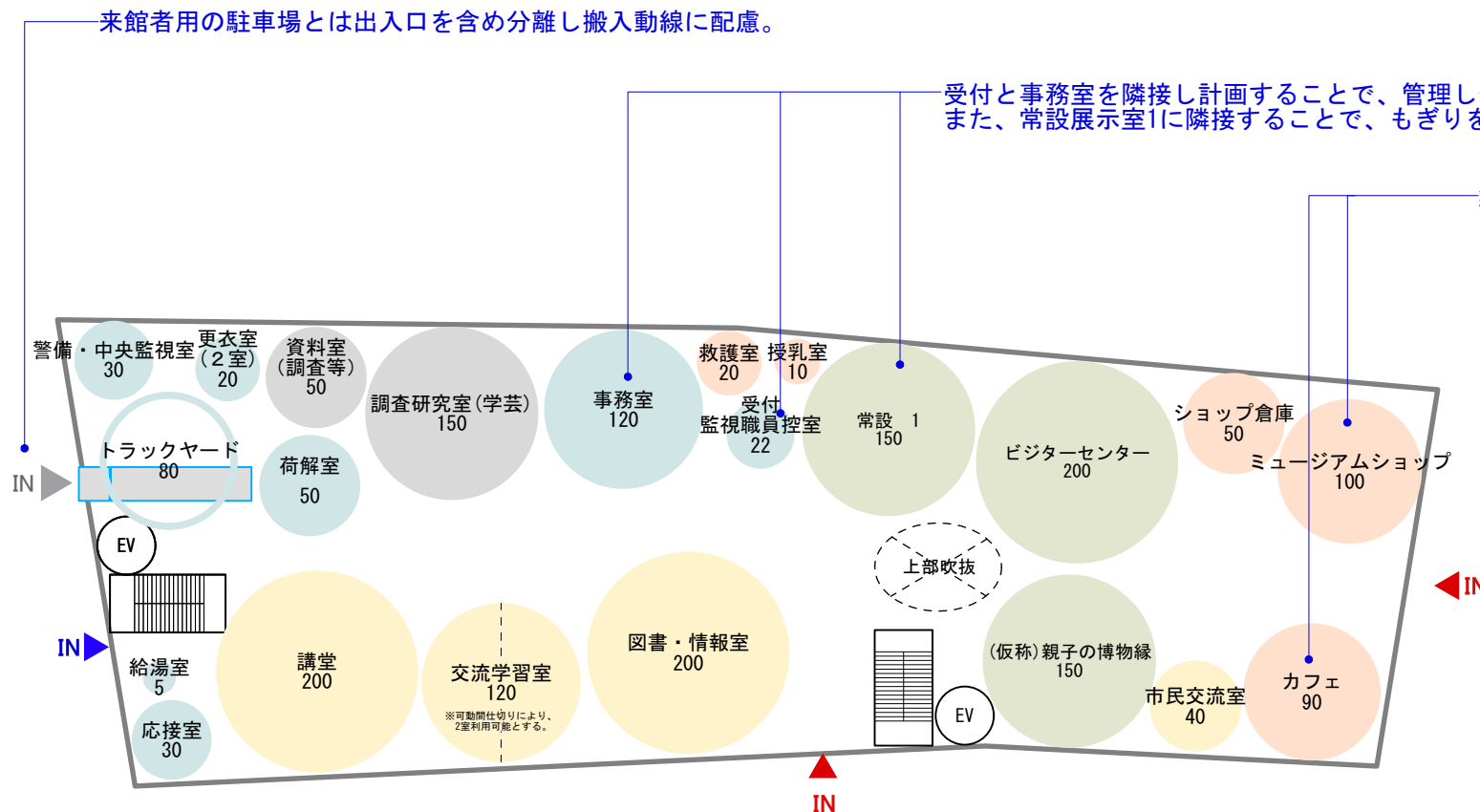
2階に蔵庫をまとめることで、蔵庫の温湿度環境に配慮。展示動線がわかりやすく明快となる。また、搬入後の資料の移動は蔵庫を中間階とすることで、上下階のどちらにも1層分の移動でよい。

■ 凡例

- 来館者ゾーン
- 管理ゾーン
- 蔵庫ゾーン



2階施設計画図



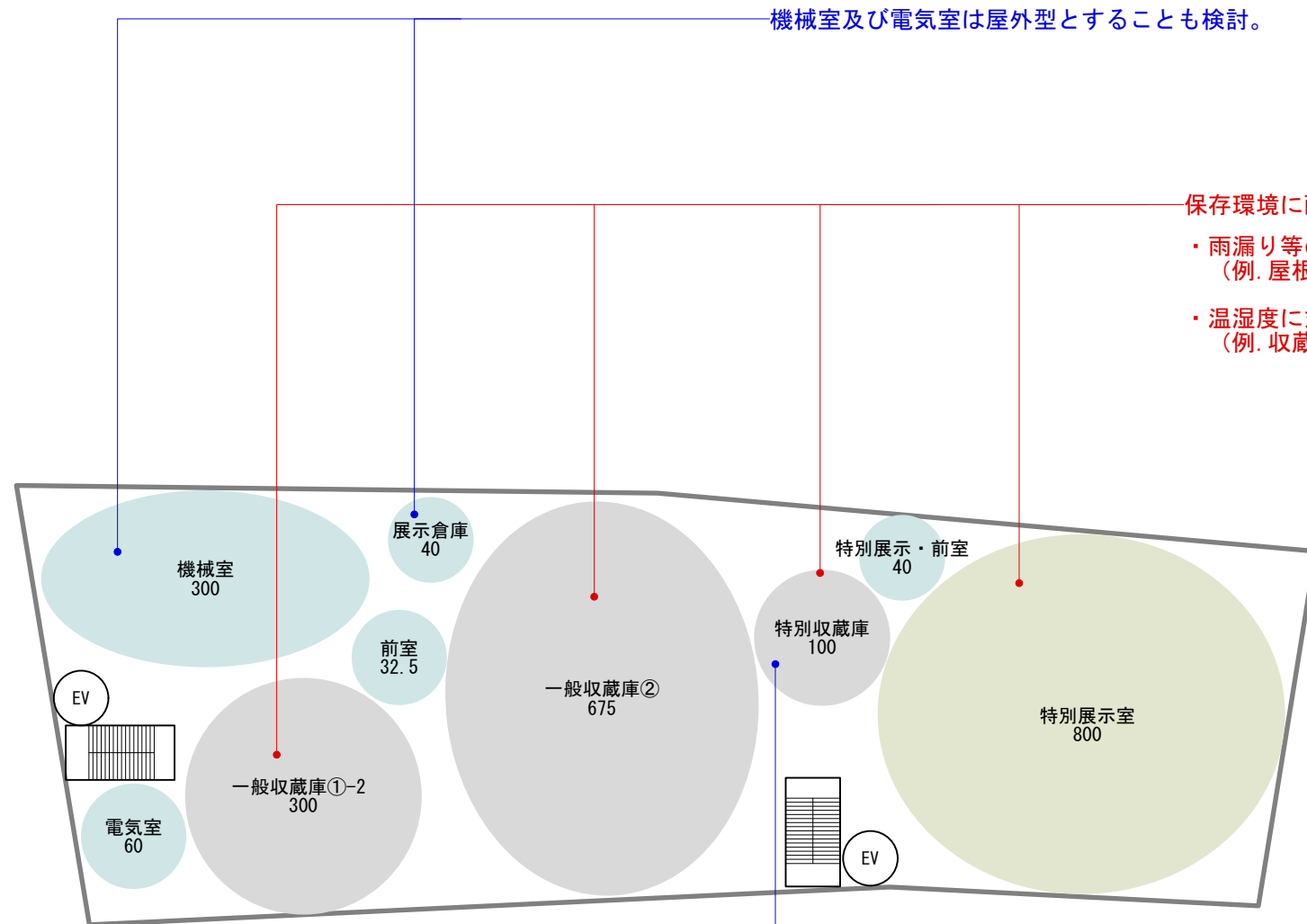
1階施設計画

■凡例

IN ▶	来館者動線
IN ▶	管理動線
IN ▶	搬入動線



※図中の数値は、諸室の想定面積（㎡）を示す。



機械室及び電気室は屋外型とすることも検討。

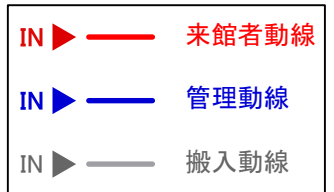
保存環境に配慮が必要な資料が最上階となってしまうため、十分に配慮する。

- ・雨漏り等の漏水対策に十分配慮する。
(例. 屋根材の防水工法の選定等に配慮する。一定以上の勾配を確保した勾配屋根とする。)
- ・温湿度に対する影響を受けやすい場所となるので断熱や空調換気に配慮した仕様とする。
(例. 収蔵庫の周囲を隙間なく断熱。不透湿層を隙間なく確保。二重壁とし、二重壁内まで空調換気を行う。)

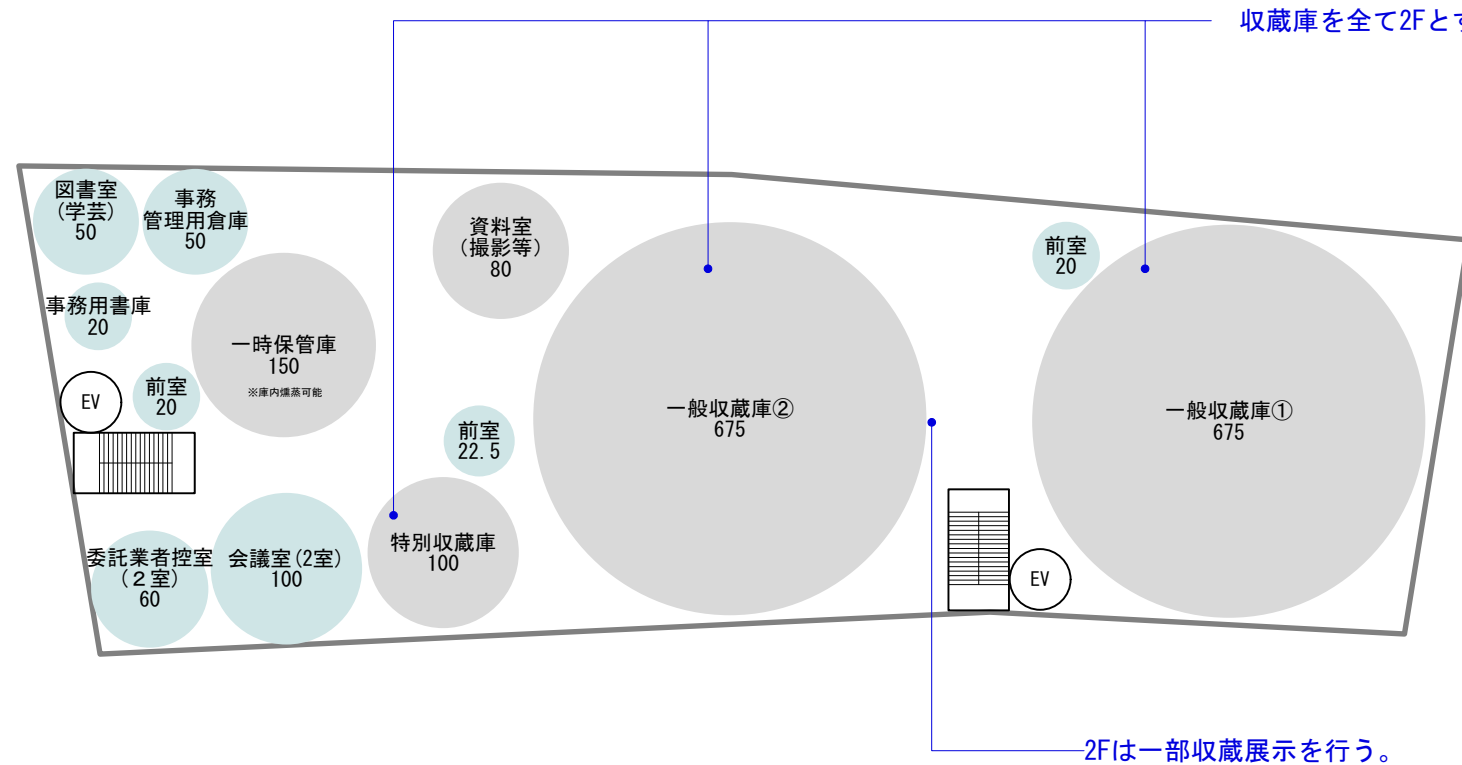
3階施設計画図

特別収蔵庫は、特別展示室に隣接し計画。

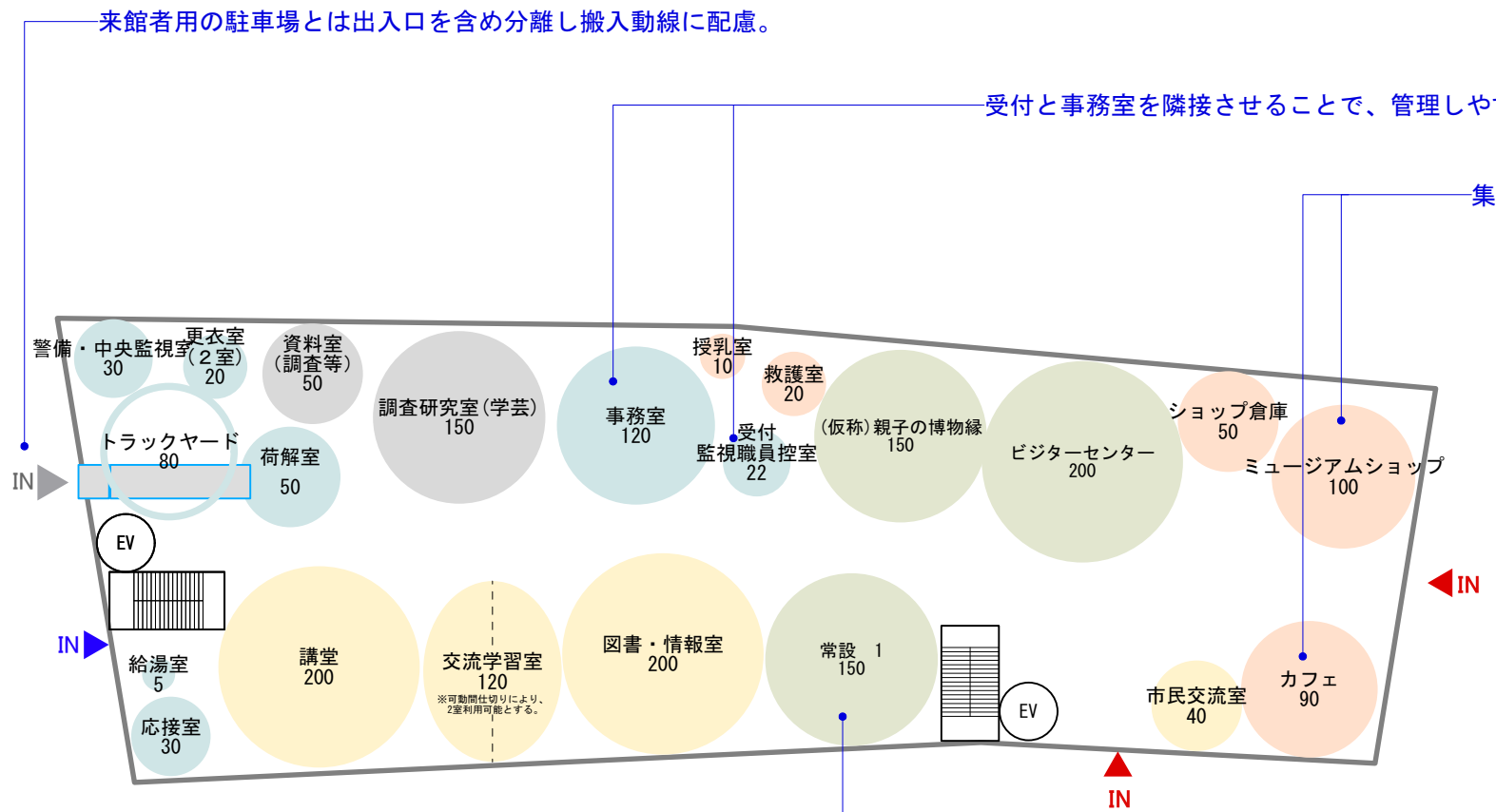
■凡例



※図中の数値は、諸室の想定面積 (㎡) を示す。



2階施設計画図



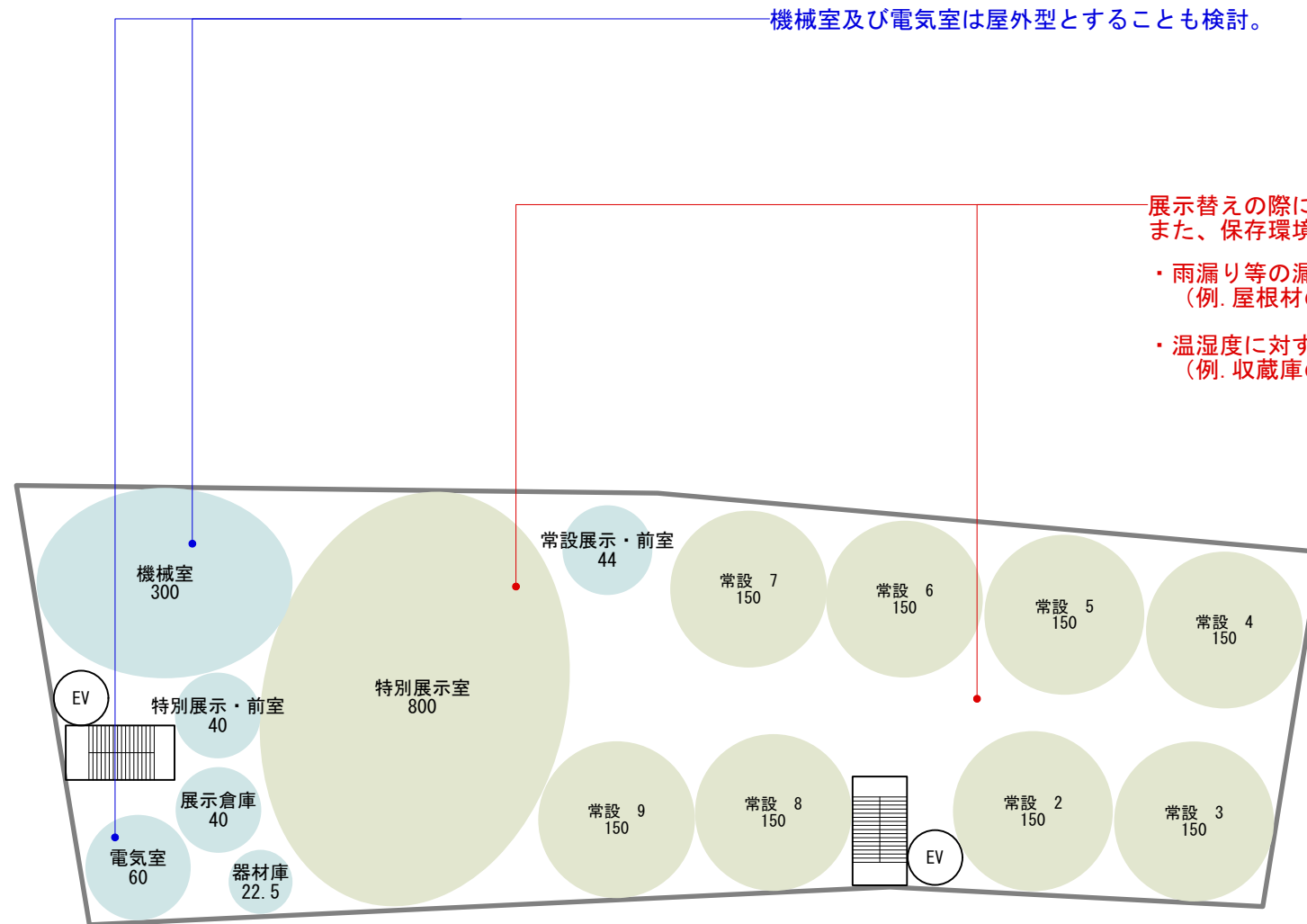
1階施設計画

■ 凡例

- IN ▶ (Red arrow) 来館者動線 (Visitor flow)
- IN ▶ (Blue arrow) 管理動線 (Management flow)
- IN ▶ (Grey arrow) 搬入動線 (Loading flow)



※図中の数値は、諸室の想定面積 (㎡) を示す。



機械室及び電気室は屋外型とすることも検討。

展示替えの際には、2F収蔵庫からの縦移動が必要となる。
また、保存環境に配慮が必要な資料が最上階になってしまうため、十分に配慮する。

- ・雨漏り等の漏水対策に十分配慮する。
(例. 屋根材の防水工法の選定等に配慮する。一定以上の勾配を確保した勾配屋根とする。)
- ・温湿度に対する影響を受けやすい場所となるので断熱や空調換気に配慮した仕様とする。
(例. 収蔵庫の周囲を隙間なく断熱。不透湿層を隙間なく確保。二重壁とし、二重壁内まで空調換気を行う。)

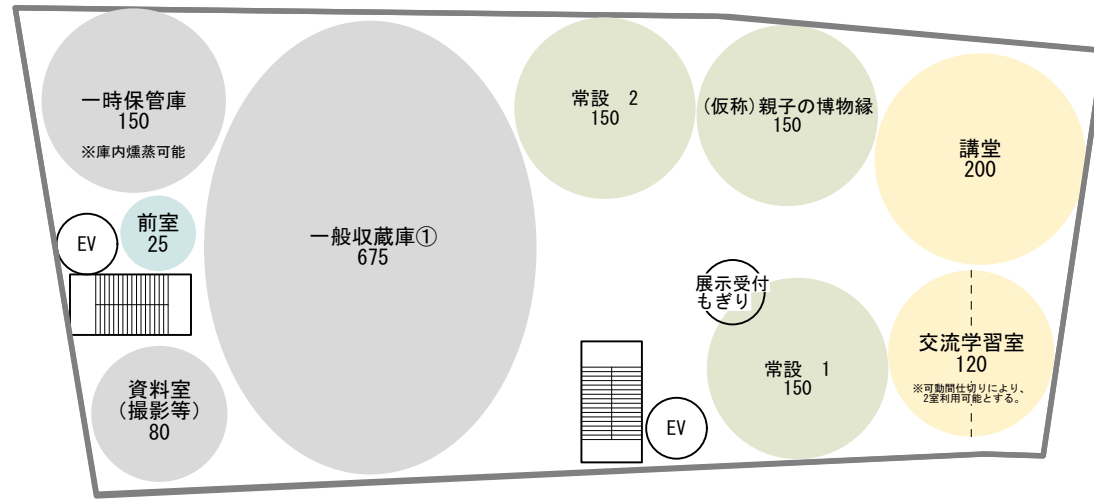
3階施設計画図

■ 凡例

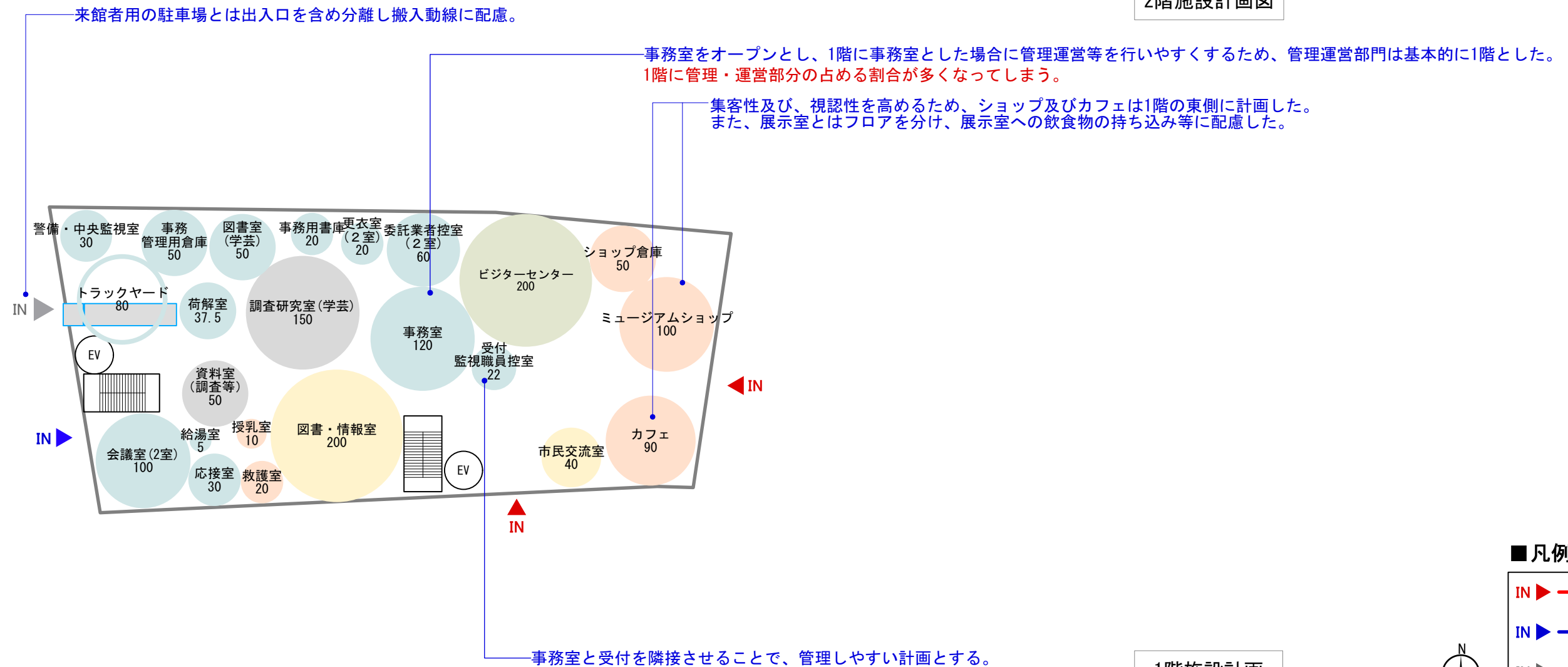
- IN ▶ 来館者動線
- IN ▶ 管理動線
- IN ▶ 搬入動線



※図中の数値は、諸室の想定面積 (㎡) を示す。



2階施設計画図



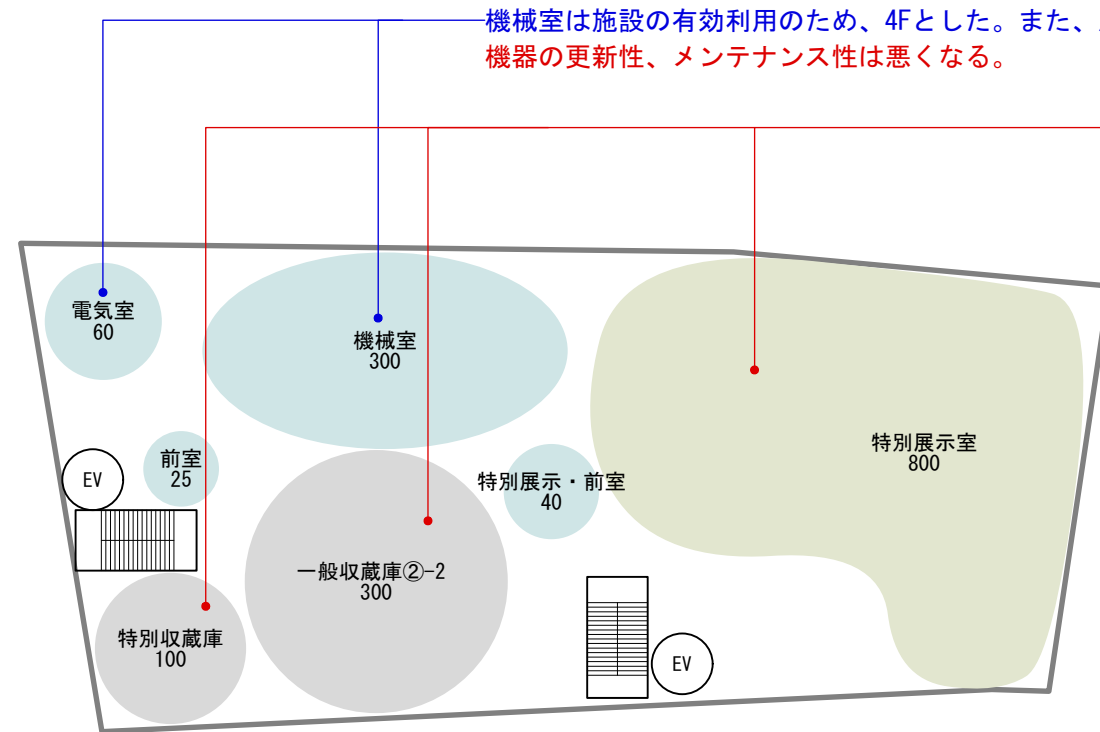
1階施設計画

■凡例

- IN ▶ 来館者動線
- IN ▶ 管理動線
- IN ▶ 搬入動線



※図中の数値は、諸室の想定面積 (㎡) を示す。

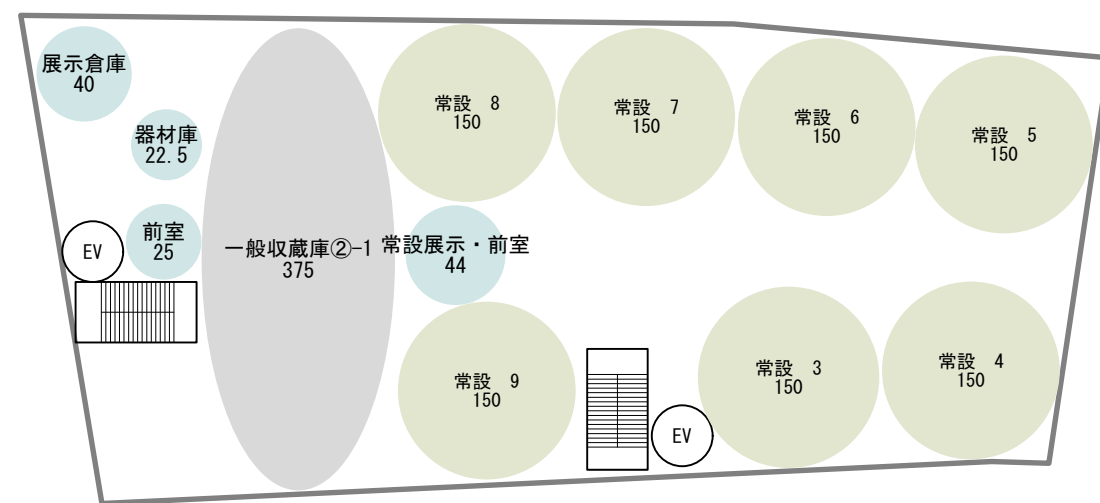


機械室は施設の有効利用のため、4Fとした。また、屋外(屋上)とすることも検討
機器の更新性、メンテナンス性は悪くなる。

保存環境に配慮が必要な資料が最上階になってしまうため、十分に配慮する。

- ・雨漏り等の漏水対策に十分配慮する。
(例. 屋根材の防水工法の選定等に配慮する。一定以上の勾配を確保した勾配屋根とする。)
- ・温湿度に対する影響を受けやすい場所となるので断熱や空調換気に配慮した仕様とする。
(例. 収蔵庫の周囲を隙間なく断熱。不透湿層を隙間なく確保。二重壁とし、二重壁内まで空調換気を行う。)

4階施設計画図



3階施設計画図

■凡例

- IN ▶ 来館者動線
- IN ▶ 管理動線
- IN ▶ 搬入動線



※図中の数値は、諸室の想定面積 (㎡) を示す。